

令和7(2025)年

12月

広報

あしや

1029号



とれた!とれた!大きき芋!!

10月30日 長寿園 芋ほり

12月4日から10日までは人権週間です

「誰かのことじゃない」 人権を考える1週間



1948（昭和23）年、12月10日に第3回国際連合総会で、全ての国と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標と基準を国際的にうたった画期的なもので、採択日である12月10日は「人権デー」と定められました。

日本では人権デーを最終日とする1週間（12月4日～10日）を「人権週間」と定め、その期間中、各関係機関や団体が人権啓発活動を行って人権意識の高揚に努めています。

●「誰かのことじゃない」

人権をめぐる問題は、実は私たちの身近なところにあります。例えば、学校でのいじめ、職場でのハラスメント、インターネット上の誹謗中傷、LGBTQ+への差別、外国人や高齢者への偏見や無理解など、これらはすべて、人権が守られていない状態です。そして、こうした問題の「当事者」は、決してどこか遠くの人ではありません。自分の家族や友人、近所の人、あるいは自

分自身が「当事者」になるかもしれません。

●「気づくこと」から始まる人権の尊重

私たちができることは、まず「気づくこと」です。相手の立場になって考え、想像力を働かせ、偏見や思い込みに気づいたときには、立ち止まって見直すこと。それだけでも、社会の空気は少しずつ変わっていきます。

例えば、周囲で困っている人に「大丈夫？」と声をかける勇気。無意識のうちに使っていた差別的な言葉や態度をやめること。インターネット上の誹謗中傷に加わらないこと。こうした小さな行動の積み重ねが、人権を守る社会づくりの第一歩です。

●誰もが人間らしく、 幸せに生きられる社会へ

誰もが自分らしく、安心して、幸せに暮らしている社会とは、どんな社会でしょうか。たとえ考え方や生き方が違ってても、「違い」を理由に排除されたり、否定されたりしないこと。多様性を認め合い、支え合いながら、共に生きていける社会。そうした社会を実現するためには、行政や教育機関だけでなく、町民一人一人の意識と行動が欠かせません。芦屋町では、街頭啓発や人権啓発パネルの展示、人権まつりなどさまざまな人権啓発に取り組んでいます。人権週間を人権のことを考える機会として、その意義や重要性を学んで人権への理解を深めるとともに、お互いが尊重される地域づくりを目指していきます。

芦屋町人権・同和教育研究協議会

▷問い合わせ 社会教育係 (☎223・3546)

困っている人を助ける心



山鹿小学校6年 藤永 環菜 かな

今年の6月に山鹿小学校で「車いす陸上プログラム」がありました。5才の時に病気で両足を切断して絶望を感じていた時、高校の先生にすすめられて車いす陸上を始め、オリンピックで優勝をしたことがある方の話でした。その授業をきっかけに、私は「障がい」について調べてみることにしました。

障がいとは、体や心のどこかがうまく働かないために、不便なことや困ることがずっと続いている状態のことで、生まれた時からのもいれば、事故や病気、年をとることによって起こる人もいます。分かりました。

私も2才半から6才までの間、半年おきに5回右ひじを骨折して入院・手術をくり返した経験があります。ギブスで固定をしている期間が長く、お風呂に入るときやトイレをするとき、ご飯や絵を書くときも不便で、お母さんやお父さん、先生の助けを借りながら生活をしていたことを思い出しました。友だちが体操教室やプール、運動会の練習をしているときも私だけ横で見学をしないといけず、くやしい思いをしていました。そんな時、先生はいつも私でもできることを考えてやらせてくれていました。私は、一時的なけがであったけど、世の中には病気やけがで一生がい生活を不便に感じている人もいます。

体の障がいだけではなく、最近では心の障がいも困っている人も多いことを知りました。体の障がいは見た目で見分けやすいけど、心の障がいは見た目では分けにくく、人とコミュニケーションをとることが苦手な人もいれば、一生けん命に勉強をしてもなかなか覚えられない人もいます。このような方々が困っているとき、「大丈夫？何か手伝おうか？」と優しく声をかけられるような人に私はなりたいです。そのために、日頃から困っている人がいたら自分から声をかけていきたいと思っています。

※この記事は、町内の小中学生が「人権」をテーマに作成した作文で、提出された作文の中から芦屋町人権・同和教育研究協議会が選考したものを掲載しています。

人権週間の行事

■第27回芦屋町人権まつり

▷とき 12月13日(土)・午前10時30分～午後3時

▷ところ あしや夢リアホール

▷内容

●人権講演会

【テーマ】多様性社会 ～だれもが自分らしく生きるために～

【講師】アン・クレシーニさん(北九州市立大学 准教授)

●青少年の主張大会

芦屋町の小中学生が学校・家庭・地域などの関わりの中で、日頃考えていることや、感じていることを発表します。

●ふれあいイベント

各種団体によるバザーや催物、人権啓発パネル、小中学生の人権作品などを展示します。

※詳しくは、広報あしや12月号に折り込んであるチラシを見てください。



■人権啓発パネルの展示

▷とき 12月3日(土)～10日(日)

▷ところ 役場1階ロビー

▷問い合わせ 社会教育係 (☎223・3546)

12月3日水～9日火は 障害者週間です

▷問い合わせ 障がい者・生活支援係 (☎223-3530)

★障害者週間

障害者週間は、障がいのある人の福祉への関心と理解を深めるとともに、障がいのある人が社会や経済、文化などあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。

「障がい」は、その人の体や心にある「機能の障がい」と「社会的障壁」の両方でもつくり出されています。障がいを正しく理解し、日常生活や社会活動のなかでサポートすることで、障がいのある人の社会参加の機会が広がります。一人一人が障がいについての知識を深め、物理的・心理的なバリアをなくしていくことが大切です。

私たち一人一人が障がいを正しく理解し、障がい者差別のない町を目指しましょう。

※社会的障壁とは、障がいのある人が日常生活や社会生活を営むうえで妨げとなるような、制度や偏見などです。

芦屋町では障害者週間にあわせて、芦屋町図書館内に関連図書コーナーを設置し、障がいのある人に関する啓発を行います。



★芦屋町障がい者差別解消条例を知っていますか

平成28年に施行された「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」を踏まえ、平成31年3月に「芦屋町障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例（芦屋町障がい者差別解消条例）」を制定しました。

この条例は、障がいを理由とする差別の解消に向けた町の責務、事業者、町民の役割などを定めていますが、障害者差別解消法が改正され、令和6年4月1日から事業者による合理的配慮の提供が義務化されることなどに伴い、令和6年3月に条例の一部を改正しました。

条例では、障がいを理由とする差別を「不当な差別的取り扱い」と「合理的配慮をしないこと」と定義し、差別の解消に向けて次のことを定めています。

●不当な差別的取り扱いの禁止

障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として、サービスの提供を拒否することや、場所や時間帯などを制限すること、条件を付けることなどは禁止されています。

●合理的配慮の提供

障がいのある人から、何らかの対応や配慮をしてほしいとの意思が示された場合に、負担が重すぎない範囲で対応することが求められます。



★みんなで障がい者虐待を防ぎましょう

障がい者の虐待は、特定の人や家庭、場所ではなく、どこでも起こりうる問題です。虐待をしている人の側に、それが虐待であるという認識がない場合があります。また、虐待をされている人が、虐待を受けていると認識できずに、自分から被害を訴えられない場合があります。そのため、周囲の人がこの問題を認識し、小さな兆候を見逃さずに早期に発見することが大切です。

虐待かどうかの判断が難しい場合でも、「何か困っているようだ」「様子がいつもと違う」といった“気付き”でもよいので、何かあれば情報を提供してください。早めの気付きが問題の深刻化を防ぐきっかけになります。なお、通報や届け出をした人の情報は守られます。

防ごう！高齢者虐待

芦屋町では、高齢者虐待の防止・高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）に基づいて高齢者虐待防止への取り組みを行っています。

●高齢者虐待をなくすために

高齢者（65歳以上）の介護は、長くなるほど心身に負担がかかります。一人で、または家族で頑張りすぎていませんか。高齢者が尊厳を持って安心して暮らすために、高齢者やその家族を支援し、虐待をなくしていきましょう。

「高齢者虐待」とは、養護者（世話をする人）または養介護施設従事者による次のような行為です。

●高齢者虐待となる行為

○身体的虐待

- ・叩いたり、つねったりする
- ・ベッドに縛り付けたりする
- ・体にやけどの傷がある

など



○経済的虐待

- ・日常生活に必要な金銭を渡さない、使わせない
- ・本人の自宅などを本人に無断で売却する

など



○介護・世話の放棄、放任

- ・水分や食事を十分に与えられていないことで、脱水症状や栄養失調の状態にある
- ・住居がごみだらけだったり、異臭がしたりする

など



○心理的虐待

- ・話しているのを意図的に無視したり、排泄の失敗を笑ったりする
- ・怒鳴ったり、ののしったりする

など



○性的虐待

- ・排泄を失敗した罰として、下半身を裸にする

など

●地域で高齢者を見守りましょう

高齢者や介護をしている人たちが孤立しないように温かく見守り、支え合っていきましょう。

高齢者を医療や介護サービスなどに適切につなぐことで、介護負担も軽くなります。

「虐待かもしれない」と思った場合も相談してください。秘密は守られますので安心してください。



▶問い合わせ 芦屋町地域包括支援センター（役場福祉課内）
(☎ 2 2 3 - 3 5 8 1)

地域を守る私たちの消防団

～芦屋町消防団と地域が創る、安心の毎日～



みなさんは消防団がどんな活動をしているか知っていますか？

今回の特集では、芦屋町消防団の活動や団員の声を紹介します。

消防団とは

火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、地域生活をする中で得られる知識や経験を生かした消火活動や救助活動を行う組織です。

消防団員と消防署員の違いは？



消防団員は、普段はそれぞれの仕事（サラリーマンや農家、自営業など）に就きながら、火災をはじめとする災害時に現場へ駆けつける、非常勤特別職の公務員です。

一方、消防署員は常勤の地方公務員として、消防本部や消防署に勤務しています。

どういう人が消防団に入団できるの？



18歳以上の健康な人で、芦屋町内に在住・在勤であれば、芦屋町消防団に入団することができます。

【分団の担当区域と団員数】

区分	場所	担当区域	団員数
第1分団	折尾警察署 芦屋交番横	栗屋、大城、浜口町、 緑ヶ丘、高浜町、正門町、 祇園町、船頭町	25人
第2分団	役場横	中ノ浜、幸町、西浜町、 白浜町	22人
第3分団	城山公園下	山鹿地区全域	25人
本部	役場		3人

●各分団の担当区域と団員数

芦屋町消防団は3個分団と本部で構成されています。各分団に担当区域がありますが、火災をはじめとする災害時は担当区域に関わらず、全分団が出動します。

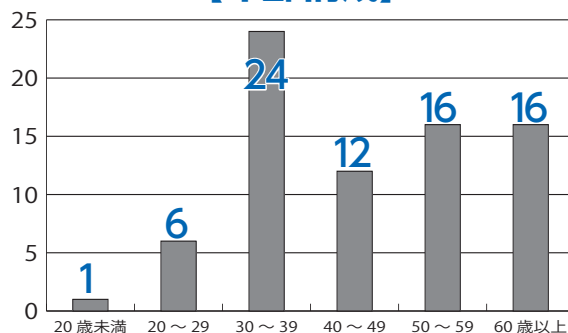


芦屋町消防団

●団員の年齢構成

10月1日現在、芦屋町消防団の団員数は75人です。10代から70代までの幅広い年代の団員が活動しています。

【年齢構成】



●消防団の待遇

被服の貸与

活動に必要な活動服や革手袋、安全靴などが貸与されます。

報酬

芦屋町消防団は階級によって異なりますが、年間報酬（83800円）が支給されます。また、災害や訓練に出動した場合には出動報酬

（1日あたり最大8000円）と費用弁償が別途支給されます。なお、5年以上勤務された団員には退職報償金も支給されます。

・公務災害補償

消防団活動中に負傷した場合などには公務災害補償が受けられます。

●消防団の主な活動

月に2回、消防車両や機械器具の点検、水門操作などの確認を行う定例出動を行っています。



△放水訓練

また、火災現場での活動を想定した放水訓練や風水害に備えた土嚢づくり、春の火災予防週間や年末には、特別警戒として消防車両で町内の巡回を行っています。

有事の際に備え、AEDの使用や応急救護を学ぶ救命講習、火災時の事故や怪我を防ぐための遠賀郡団員教養訓練に参加し、必要な知識の習得を行っています。



△救急救命講習

そのほか、花火大会の警備や、町が行う避難訓練にも出動しています。

【芦屋町消防団の主な年間予定行事】

1月	遠賀郡消防合同出初式
3月	春の火災予防週間に伴う夜間警備
6月	芦屋町大雨洪水避難訓練
7月	あしや花火大会警備 ※3個分団のうち、毎年1個分団が持ちまわりで警備を担います。
9月	遠賀郡消防総合訓練※2年に1回開催されます。
11月	芦屋町地震津波避難訓練
12月	歳末警戒



△遠賀郡消防総合訓練

消防団員 インタビュー

第1分団で活躍する団員に、入団したきっかけや消防団の魅力・やりがいなどをインタビューしました。



第1分団 団員 小手川孝一さん



●消防団に入ってきたきっかけは？

第1分団にいた知人から誘われたのがきっかけです。消防団は災害時の出動や訓練などで大変なイメージがありましたが、「活動にやりがいがあり、人とのつながりも増えるよ」と聞き、入団を決めました。

●訓練の回数は？

月に2回の定例出動では、消防車両や機材器具の点検を行っています。また、実際の火災を想定した訓練や消火栓を使用した放水訓練などを年に2回行っています。ただ、仕事や家庭の都合で参加できない場合は遠慮せず、欠席しています。

●消防団に入って思い出に残っていることは？

令和6年2月に行われた遠賀郡消防合同訓練で最優秀分団賞を受賞したことです。私も選手として訓練に参加しましたが、遠賀郡4町の消防団の中で、第1分団の訓練内容が一番評価されたこと

はとても嬉しかったですし、日頃の訓練の成果が発揮できたことでとてもやりがいを感じる機会となりました。

この訓練をきっかけに、災害現場でも、冷静に行動することができるよう積極的に訓練に参加して技術と知識を身に付けようと思いました。



●消防団の魅力は？

さまざまな人とのつながりが増えたことが魅力です。仕事も人生経験も全く異なる人たちの集まりなので、人生の幅が広がりました。また、周りの団員も優しく頼れる人ばかりなので、困ったことや悩みも相談しています。

●消防団員を募集しています

町を災害から守る消防団は地域社会になくてはならない存在です。

芦屋町では消防団員を募集していますので、興味を持った人は、庶務係まで連絡してください。

※活動内容、処遇など不明な点は気軽に問い合わせてください。

○入団条件

・18歳以上の入

・町内に居住または勤務している人

○問い合わせ

庶務係（☎2223・3572）

町を守る消防団、
カッコよかったっちゃ！
消防団員募集中っちゃ！





必ず、あなたの役に立つ 戸別受信機を設置しましょう★

■ 戸別受信機を設置しましょう

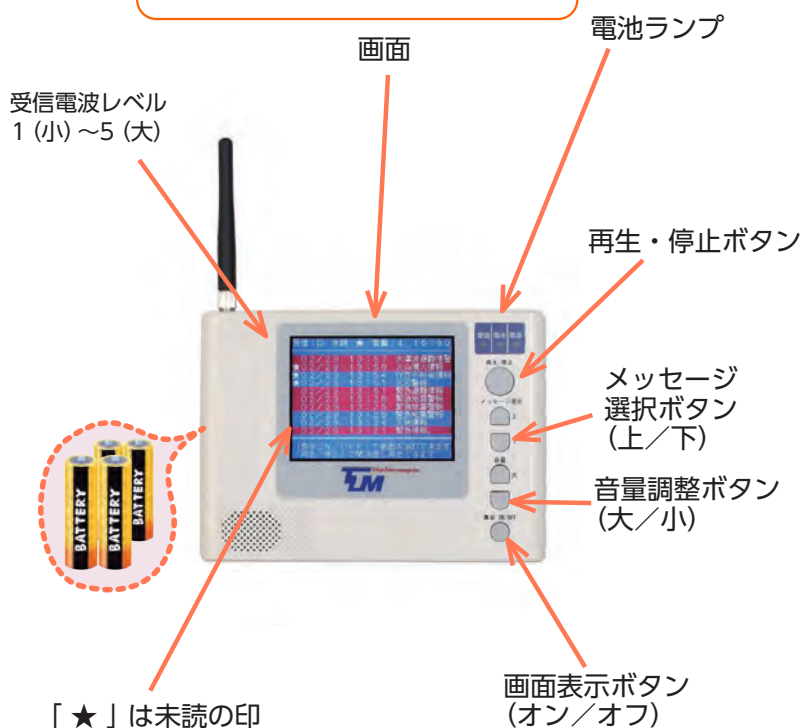
- 戸別受信機は、災害時の避難情報や町からの重要な緊急情報を受信する機器で、町からの情報だけではなく、住んでいる自治区からの情報（区内の行事などのお知らせ）も配信される便利な機器です。まだ、箱から出していない人は、設置をお願いします。

■ 電源（コンセント・電池）の接続

戸別受信機の電源は、普段は AC アダプターを接続し、家庭用コンセント（以下、コンセント）から取ってください。電池は停電時に使用しますので、必ず入れておいてください。

- コンセントに接続していても、電池は自然消耗します。また、コンセントに接続せずに電池だけで使用すると、2、3 日程度で電池がなくなります。
- 電池切れの場合（電池を入れていない場合も）は、受信機右上の「電池」のランプが赤く点灯するので、電池を交換してください。
- 液漏れによる故障などを防ぐためにも、電池は 1 年に 1 回は交換しましょう。
- 電池は、「+」「-」を正しい向きで入れましょう。間違えると液漏れを起こし、故障や出火の原因になってしまいます。

電池を入れた状態で AC アダプターにつなぐと、緑ランプが点灯します（電池切れの場合は、赤ランプが点灯します）。



■ 受信の確認

- 受信し、読んでいない情報には、「★」印が付いています。「再生・停止」ボタンを押して、内容を確認しましょう。
- 音量は、受信機の右側下段の音量調整用の「大」「小」ボタンで調整できます。

■ 戸別受信機は町からの貸与品です

- 戸別受信機は、町からの貸与品です。大切に扱ってください。芦屋町から転出する場合は、必ず総務課に返却してください。また、一人暮らしの人が亡くなった場合も返却が必要です。
- 町内で転居する場合は、転居先の自治区の情報を受信できるよう、設定を変更しますので、総務課に戸別受信機を持ってきてください。

▷ 問い合わせ 戸別受信機に係る全般のこと＝庶務係（☎ 2 2 3 - 3 5 7 2）

戸別受信機の機器や使用方法＝防災ラジオコールセンター（24 時間対応 年中無休）（☎ 〈 0 1 2 0 〉 3 8 8 - 2 8 0）

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷ 問い合わせ シティプロモーション係
(☎223・3571)



食品衛生指導員としての功績がたたえられました

10月15日 公益社団法人日本食品衛生協会会長賞受賞

芦屋町で食品衛生指導員として活動している矢野千恵子さんと明神豊子さんが、長年にわたる食品衛生の普及向上に貢献した功績がたたえられ、公益社団法人日本食品衛生協会会長賞を受賞されました。2人は25年以上の間、食品衛生指導員として食品を取り扱う店舗の指導や相談、消費者の食品衛生意識の啓発活動などを行っています。

救急医療の発展への貢献がたたえられました

9月9日 令和7年度救急医療関係功労者知事表彰

救急医療関係業務に長年にわたって従事し、救急医療体制の整備に貢献するなど救急医療に関する功績が顕著な個人に与えられる救急医療関係功労者知事表彰を地方独立行政法人芦屋中央病院理事長の櫻井俊弘さんが受賞されました。櫻井理事長は、「今回の表彰は、芦屋中央病院職員の努力の結果だと思います。今後も救急医療の維持発展に努め、地域の人々の安心と安全を守るために尽力していきます」と話していました。



バレーボール選手、目指してみる！？

10月11日 芦屋町スポーツふれあいフェスタ 2025

芦屋町総合体育館で芦屋町スポーツふれあいフェスタ2025が開催されました。メインイベントとしてバレーボールの福岡ギラソールとサッカーのギラヴァンツ北九州の2つのプロスポーツチームによる体験教室が行われ、プロ選手の皆さんは大きな声と笑顔でバレーボールやサッカーを教えてくださいました。参加したこどもたちは真剣な表情でバレー・サッカーにチャレンジし、汗だくになっていました。そのほかモルックやボッチャ体験なども行われ会場には笑顔があふれていました。





たくさんできた黄金色の実

10月6日 3小学校稲作体験学習

JA 北九青年部（芦屋支所）協力のもと、町内3小学校の5年生が稲刈り体験を行いました。田んぼには、6月に植えた緑色の小さな苗が黄金色の実をつけ大きく育っていました。

稲を握り、鎌を引き「ザクッ、ザクッ」と音を鳴らしながら初めての稲刈りを行った児童たちは、「手が痛い」「採れた」などと声を上げて楽しんでいました。刈った後は20束の束にまとめて機械に運び脱穀を行いました。



文化の秋、芸術の秋

10月25日、26日 あしや文化祭

中央公民館であしや文化祭が行われました。25日、26日は中央公民館で生花や水墨画、写真などの作品展示のほか、野菜即売会や芦屋中学校茶道部1年生による呈茶などが行われました。一般の人へのお点前に緊張しつつも、部活動での成果を披露していました。

また、生花の展示では、立花や生花、アレンジメントなどさまざまな様式で花本来の美しさや、山・川など自然を表現した作品が展示され、訪れた人を魅了していました。



芦屋町の空の祭典

10月5日 航空自衛隊芦屋基地航空祭

航空自衛隊芦屋基地で航空祭が行われ、約1万2千人の観客が訪れました。航空機の地上展示やヘリコプターからの救難降下、ホワイトアローズやウイスキーパパによる曲技飛行など多くの催しがありました。また、T-4コックピット展示が開場後すぐに60分待ちになるなど、多くの来場者で盛り上がりしました。





浜崎区の備品が充実しました

浜崎区では、令和7年度のコミュニティ助成を受け、自治区活動の拠点となっている公民館の冷蔵庫、テレビ、エアコンなどの備品を整備しました。必要な備品などが整備されたことで、自治区活動をはじめ、さまざまなイベントなどを安全安心に行うことができるようになりました。



●コミュニティ助成事業とは

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、



町ホームページ

安全な地域づくりと共生のまちづくりなどに対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図るものです。

▽問い合わせ 地域振興・交通係（☎223・3539）

介護のお仕事復帰セミナー

あなたの持つ資格を生かして、介護分野に再就職をしませんか。

▽とき 【北九州地区】12月21日（日）午前11時～午後4時

※正午～午後1時は昼食休憩

▽ところ 【北九州地区】ウエルとばた（戸畑区汐井町）

▽内容 介護技術の復習（講義・実技）

▽対象 介護福祉士
か介護関係研修課程修了者で、現在、介護分野に就業していない人



福岡県社会福祉協議会
福祉人材センター

▽定員 40人

▽参加費 無料

▽問い合わせ 福岡県社会福祉協議会
福祉人材センター（☎092・584・3310）

ひとり親サポートセンター 就業支援講習会

ひとり親家庭の人や離婚を考えてい

る人を対象にした講習会を行います。

■福祉用具専門相談員（資格取得）

▽講習期間 令和8年1月17日～3月7日の毎週（全8回）・午前9時から

※終了時間は日によって異なります。

詳しくはホームページを確認してください。



ひとり親サポートセンターホームページ

▽ところ ウエルパークヒルズ研修室（中間市通谷）

▽定員 8人（託児あり）

▽受講料 無料

※教材費の一部3000円は自己負担です。

▽申込期限 12月22日（日）

▽申し込み マンパワーグループ株式会社（☎092・741・9531）へ

犯罪被害者週間と相談窓口 11月25日～12月1日

毎年11月25日～12月1日は、犯罪の被害に遭った人への理解や被害者支援の必要性を皆さんに知ってもらう「犯罪被害者週間」です。

【犯罪被害者相談窓口】

犯罪被害に遭った人の心のケアを行う相談窓口です。匿名でも構いません。少しでも話してみませんか。

●福岡県警察本部内心のリリーフ・ライン

平日の午前9時～午後5時45分に、女性の臨床心理士が対応します。

（☎092・632・7830）

●性犯罪被害相談電話全国共通番号

（☎#8103）

※24時間対応で、女性の臨床心理士と女性警官が対応します。ただし、平日夜間、土・日・祝休日は男性警官が対応する場合があります。

【犯罪被害者支援ポータルサイト】

警察庁が運営する犯罪被害に遭った人・支援者のためのポータルサイトの紹介です。

●ギョットとCH（チャンネル）

犯罪被害に遭った人やその家族・遺族に対する支援制度や相談窓口に関する情報を集約したポータルサイトです。



ギョットとCH
（チャンネル）

●犯罪被害者等支援公式X
（旧twitter）

犯罪被害者等支援に関する政策や取り組みの紹介・イベントの告知などが発信されています。



犯罪被害者等支援
公式X（旧twitter）

▽問い合わせ 折尾警察署総務第一課
被害者支援・相談係（☎691・0110）



芦屋町図書館
(☎223-3677)
開館時間
午前10時～午後6時



芦屋町図書館
ホームページ
※資料検索や
予約などが
できます。

■休館日 1日月、8日月、15日月、22日月、
25日(木)、29日月～令和8年1月3日(土)

はしもとえつよさん講演会

北九州市出身の絵本作家、はしもとえつよさんを講師に迎え、絵本作りの普段聞けないエピソードや、はしもとさん本人による読み聞かせなどの楽しい講演会です。

- ▷とき 令和8年1月25日(日)・
午後2時から
▷ところ 中央公民館2階
▷定員 80人(事前申し込み
先着順)
▷申し込み 12月3日(金)から図書館
カウンターまたは電話で受け付け



定例おはなし会

- と き 出 演・催 し
3日(金) 赤ちゃんおはなし会たち
13日(木) お話しポケット
28日(金) にじの会
※時間はいずれも午前11時から
※14日(金)の定例おはなし会は、「冬の特別おはなし会」開催のためありません。
▷ところ おはなしのへや

新着図書

注目の一冊



総理にされた男
第二次内閣
しちり
中山 七里 著
NHK 出版

人気小説第2弾! 素人ながらも国民に寄り添った政治姿勢で世論を味方につけてきた“替え玉総理”
かのうしんさく
加納慎策に、不況、パンデミックなどの難局が…。

【一般書】

雷電	梶 よう子	著
さよならジャバウォック	伊坂 幸太郎	著
龍の守る町	とがみ ひろまさ 砥上 裕将	著
女王さまの休日	かすえ 古内 一絵	著

【児童書】

みんなの居場所	しらや みえ 白矢 三恵	作
カタミミの森	かおり 小森 香折	作
まこちゃんとコトバロボ	村上 しいこ	作
きれてる	鈴木 のりたけ	作
サンタが ふたり?	スズキトモコ	作

人口 (前年同月との比較)

令和7年 10月末日現在	令和6年 10月末日現在
12,510 人	12,715 人
6,072 人	6,183 人
6,438 人	6,532 人
6,363 世帯	6,399 世帯

10月分の人の動き

出生…… 2 人	転入…… 35 人
死亡…… 20 人	転出…… 78 人

● 浜木綿俳句会
言葉なく手を振るさよなら
秋の暮
野口 加津美
床の間に秋の七草呈茶待つ
池田 千恵子
秋しぐれ豪商屋号の鬼瓦
小川 雪野
堰く水の仰向けに月ただよへる
池田 幸利
● 水茎短歌会
スーパの買物終えて待つ夫へ
大きく手を振り合図を送る
麻生 清子
亡き母の弾きいし三味線われもまた
習えば母の思い出される
宮崎 佐代子
狭き道を譲りて礼の合図受く
笑顔の会釈とハザードランプ
村上 一恵
長年の空地の整地始まりて
黒き積木のごとき家の建つ
田中 勢津子

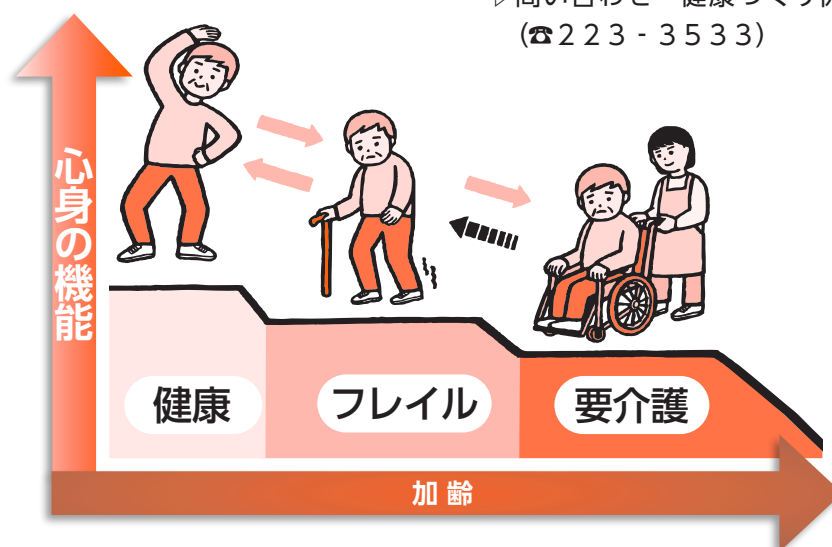
俳句・短歌

もしかして、 フレイルかも？！



▷問い合わせ 健康づくり係
(☎223-3533)

フレイルとは、年を重ね、体や心、社会的なつながりが弱くなった状態のことです。そのまま放置すると、要介護状態になる可能性があります。しかし、早めに気づいて、適切な対策をすれば健康な状態に回復できる時期でもあります。



こんな傾向はフレイルかもしれません

- ☐ この半年くらいの間に意図せず体重が2kg以上減った
- ☐ 疲れやすく何をするのも面倒だ
- ☐ 歩く速度が遅くなった
(例：横断歩道を青信号の間に渡れなくなった)
- ☐ 筋肉量の減少
(例：ペットボトルのふたを開けるのが大変だ)



フレイルを予防するために

フレイル予防は日々の習慣と結びついています。低栄養、口の健康、身体活動、社会参加を見直すことでフレイルを予防できます。

今回は、「低栄養予防」に特化して話します。

低栄養はフレイルを引き起こす危険な兆候です

中年期にメタボ対策をしてきた人の中には、高齢になっても肉や卵、脂っこいものを避けた方がよいと考えている人も多いようです。高齢期のやせは肥満よりも死亡率が高くなります。65歳を過ぎて病気でもないのにやせてきたら、「メタボ予防」から「フレイル予防」への切り替えどきかもしれません。



① BMI（体格指数）を知り、自分の体重の変化をチェックしましょう

◎ BMI の求め方

BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

例：身長 160cm、体重 60kg

60kg ÷ 1.6m ÷ 1.6m = BMI23.4



自分の BMI が
いくつか確認して
みるっちゃ！

年齢	BMI		
	低栄養の心配がある	目標とする範囲	肥満
18～49 歳	18.4 以下	18.5～24.9	25.0 以上
50～64 歳	19.9 以下	20.0～24.9	25.0 以上
65～74 歳	21.4 以下	21.5～24.9	25.0 以上
75 歳以上	21.4 以下	21.5～24.9	25.0 以上

※医師の指示がある場合は、それに従って体重管理をしてください。

② 1日3食しっかりととりましょう

1日に1食や2食の食事では、必要なエネルギー量や栄養素をとることが難しいので、朝食、昼食、夕食の3食をしっかりととりましょう。

③ 1日2回以上、主食・主菜・副菜を組み合わせ食べてみましょう

栄養素をまんべんなくとるために、主食とおかずを組み合わせましょう。

カレーライスや中華丼のように、1皿で主食、主菜、副菜がそろったメニューがあります。



④ いろいろな食品を食べましょう

いろいろな食品を組み合わせることで、必要な栄養素をまんべんなく取ることができます。おかずは10の食品群のうち、毎日7つ以上を目標に食べましょう。

合言葉は、「さあ、にぎやかにいただく」です。

さ 魚 	あ 油 	に 肉 	ぎ 牛乳 	や 野菜 	か 海藻
い 芋 	た 卵 	だ 大豆 	く 果物 	+	主食

※「さあ、にぎやかにいただく」は、東京都健康長寿医療センター研究所が開発した食品摂取多様性スコアを構成する10の食品群の頭文字をとったもので、ロコモチャレンジ！推進協議会が考案した合言葉です。

私たちの手で支えあいの地域をつくる

▷問い合わせ 芦屋町社会福祉協議会
(☎222-2866)

～芦屋町のボランティア団体紹介シリーズ4 ^{はっさく}「八朔の会」～

町内では、「芦屋町手をつなぐリボンの会」というボランティア団体が活動しています。その中に6団体が所属しており、さまざまな分野の活動をしています。今回は「八朔の会」を紹介します。

八朔の会（結成して39年）

- ◆活動場所 中央公民館4階
- ◆活動日時 毎週㊗・午前11時30分から3時間程度
- ◆活動人数 29人（3班に分かれて活動）
- ◆活動に込めた想い

在宅の高齢者に栄養バランスの良い弁当を作って届ける活動をしています。利用者のほとんどが後期高齢者ですが、住み慣れた自宅で暮らし続けたいと頑張っている人ばかりです。その人たちが低栄養にならないよう、そして食べたいと思える、楽しい弁当づくりに励んでいます。



【活動レポート】

取材した日は、敬老の日の特別な弁当作りでした。サーロインステーキが目玉で、いつもより少し手の込んだおかずにしていました。

調理ボランティアの皆さんは、それぞれの季節をイメージした弁当も作っており、心地よい疲れをみんなで共有しています。また、配達ボランティアの皆さんは、利用者の自宅を訪問する際には今日も元気であることを願い、「会えてうれしかった」と言ってもらえるよう心がけています。



八朔の会の活動に興味がある人、見学・入会をしてみたい人は、芦屋町社会福祉協議会に連絡してください。



▷問い合わせ 社会教育係
(☎ 2 2 3 - 3 5 4 6)

「力ではなく言葉で」 現代のしつけ

「しつけ」と聞くと、こどもに対して厳しくルールを守らせなければならぬと感じる人も多いと思います。しかし、しつけはこどもが社会の中で生きていくために必要なものです。

ここでは、しつけのポイントを2つ紹介します。

① 伝わりやすい言葉で

しつけをするときには、言葉で伝えることが大切です。手をあげてしまったり、何が悪いのかわからないまま、ただ恐怖感だけが残ります。手をあげそうになったときは、一度深呼吸をして、冷静に短い言葉で、わかりやすく伝えましょう。こどもが理由を納得できるように説明し、「しなさい」という命令口調ではなく、「しなさいね」と提案すると自主性を感じながら学ぶことができます。また、「しなさいね」と否定的

に伝えるよりも、「しなさいね」と言い換えることも大切です。こどもは自分がしていることを否定されると嫌な気分になり、素直に大人の言うことを聞かなくなってしまうかもしれません。例えば、「走り回らないでね」というよりも、「周りの人におつかつたらあぶないから、歩こうね」のように、なぜそうするほうが良いのかを一緒に伝えることで、納得して行動に移しやすくなります。

② できたことを見つけてほめる

しつけでは、つい悪いところに目が行きがちになり、やらなかったことを叱ってしまいがちです。叱ってしまうと、こどもは「バレなければいい」と考えるようになり、この考え方は大人になってもなかなか直りません。一方で、できたことを褒められるとこどもはうれしくなり、自主的に動きやすくなります。褒めるときは、こどもの行動の結果どんな影響が出たかも一緒に伝え、よいこどものやる気につながりやすいでしょう。

しつけを行うには、なによりも保護者とこどもの信頼関係が成り立っていることが必要です。こどもが、「いつも見守ってくれている」と感じられるように、ゆったり構え、焦らずに根気強く繰り返ししていきます。



りーど通信 No. 59

シャボン玉石けん工場へ 見学に行きました！

8月19日にりーどばらにてあキッズ第3回研修会で、シャボン玉石けん工場へ行きました。最初に、石けんの原料や製法、特徴などをビデオで学び、講師から、洗剤には「無添加石けん」と「合成洗剤」の2種類があることなどを実験やクイズでわかりやすく教えてもらいました。



次に、石けんが作られ梱包されるまでの工程を工場で見学しました。この工場では、天然油脂と苛性ソーダ・苛性カリを大きな釜で1週間以上かけて熟成させる釜炊き法で石けんを作っており、人の手で色合いや粘度、味などで熟成の判断をしています。これは10年以上経験しないとできない難しい仕事であることが知り、キッズたちは驚いていま

した。

石けんの製造工程・環境に与える影響などを学び、石けんの使い方を意識するきっかけになりました。

今後も好奇心や自発性、ボランティア活動への興味・関心を引き出す場となるように、ボランティア活動センターでは、見学や体験も盛り込んだ活動を企画していきます。



▽問い合わせ ボランティア活動センター (☎ 2 2 1 - 1 0 1 1)

くらしの情報

問い合わせ（市外局番093）

役場・教育委員会	☎ 223-0881 (代)	山鹿公民館	☎ 223-1892
町民会館	☎ 223-0731	芦屋東公民館	☎ 222-1981
芦屋中央病院	☎ 222-2931	総合体育館	☎ 222-0181
中央公民館	☎ 222-1681	芦屋釜の里	☎ 223-5881
図書館	☎ 223-3677	芦屋歴史の里	☎ 222-2555

年末年始の救急医療はこちらへ

受診に持っていくもの

マイナ保険証または資格確認書、医療証（高齢受給者・ひとり親・こども・障がい者）、または診療依頼書（生活保護世帯）、普段飲んでい
る薬。乳幼児の場合は、母子健康手
帳、紙おむつ、哺乳瓶、タオルなど。

●内科と小児科

▽とき 12月31日 ㊗ 令和8
年1月3日 ㊗ 午前9時～11
時30分、午後1時～4時30分
※ただし、1月1日 ㊗ は正午～
午後4時30分

▽ところ 遠賀中間休日急病セ
ンター（遠賀町大字尾崎・おん
が病院内 ☎ 282・9919）
※乳幼児の診療は、専門外の医師
が担当する場合があります。必
ず電話で問い合わせてください。

●歯科

▽とき 午前10時～午後5時
▽当番医院 12月29日 ㊗ 宮
口歯科医院（中間市通谷 ☎ 2
43・5055）、30日 ㊗ 山
崎まさひろ歯科（中間市
東中間 ☎ 243・7333）、
31日 ㊗ なかま大人こども
歯科（中間市中央 ☎ 243・

6480）、1月1日 ㊗ も

り歯科医院（水巻町吉田東 ☎

201・8181）、2日 ㊗ 藤

江歯科医院（遠賀町田園 ☎

293・1341）、3日 ㊗ し

んどう歯科医院（水巻町古

賀 ☎ 202・0183）

※受診前に当番医院に電話で
問い合わせてください。連絡
がつかない場合は、遠賀消防
本部（293・8123）へ

●電話での問い合わせ制度

夜間の急な病気などに適切
な助言を行います。

▽相談時間 ㊗ ㊗ 午後6
時～午後10時、㊗ ㊗ 午
後5時～午後10時

▽電話番号 282・9919
（遠賀中間休日急病センター）

●救急車？病院？迷ったら！

#7119

福岡県救急医療電話相談・医
療機関案内を活用してください。

看護師などが24時間365
日体制でアドバイスを最寄り
の医療機関の案内を行います。

▽とき 24時間年中無休

▽電話番号 #7119 また
は、(092) 471・00

99（福岡県救急医療情報セ
ンター）

※重症時は迷わず119番に
連絡してください。

●小児救急医療電話相談

こどもが急な病気やケガで心
配なとき、相談してください。

▽とき 平日 ㊗ 午後7時～翌
朝7時、㊗ ㊗ 正午～翌朝7
時、㊗ ㊗ 祝休日 ㊗ 午前7時～
翌朝7時

▽電話番号 #8000 また
は、(092) 731・41
19（福岡県小児救急医療電
話相談）

●Q助（全国版救急受診アプリ）

急な病気やけがをしたとき、
該当する症状を画面上で選択
していくと、緊急度に応じた適
切な対応が表示

されます。事前
にアプリをダウ
ンロードしてお
くと、安心です。

ホームページ
には更に詳しい
情報を掲載してい

ます。

▽問い合わせ 健康づくり係
(☎ 223・3533)



町ホームページ



Q助アプリ



年末年始

まちの施設の休み

● 役場

▽期間 12月27日(土)～令和8年1月4日(日)

● 芦屋釜の里、芦屋歴史の里

▽期間 12月28日(日)～令和8年1月3日(土)

● 中央・山鹿・芦屋東の各公民館、ギャラリーあしや、図書館、町民会館、各体育施設

▽期間 12月29日(日)～令和8年1月3日(土)

● ボランティア活動センター

▽期間 12月28日(日)～令和8年1月4日(日)

年末年始の

ごみとし尿の収集を休みます

● ごみの収集 令和8

年1月1日(日)～1月4日(日)は休みます。

※12月31日(金)の「もえるごみ」の収集は行います。

● リレーセンターへの自己搬入

12月29日(日)・午後4時30分まで受け付けます。

※12月30日(日)～令和8年1月4日(日)は搬入できません。



● 粗大ごみ受付センター

12月27日(土)～令和8年1月4日(日)は休みます。

● し尿の収集 12月27日(土)～令和8

年1月4日(日)は休みます。臨時収集を希望する人は、12月19日(金)までに、収集業者へ直接申し込んでください。

【収集業者連絡先】

(有) 環整 (☎2223・0402)

▽問い合わせ ごみ収集 環境・公園係 (☎2223・3538)、

し尿収集 下水道係 (☎2223・3549)

※年始のごみ収集日は、広報あしや1月号(12月19日(金)から配布)に折り込まれる「1月の情報カレンダー」で確認してください。

交通機関の年末年始ダイヤ

▽期間 12月29日(日)～令和8年1月3日(土)

● 北九州市営バス 日曜・祝日ダイヤで運行

● 芦屋タウンバス 土日祝日ダイヤで運行

● 芦屋町巡回バス 運休

▽問い合わせ 北九州市営バス 北九州市交通局向田営業所 (☎691・0131)、芦屋タウンバス、芦屋町巡回バス 地域振興・交通係 (☎2223・3539)

園児を募集します



令和8年4月からの保育所(園)・認定こども園(保育利用)の新規申し込みを受け付けます。

▷ 受付期間

一次申し込み = 12月1日(日)～令和8年1月9日(金)

二次申し込み = 1月13日(火)～2月27日(金)

※一次申し込みをした人が優先です。

※2月・3月に入所を希望する場合の申し込み期限は令和8年1月9日(金)です。

▷ 入所対象 3カ月児から

▷ 入所要件 ①同居の家族が仕事などで保育ができない家庭 ②出産や病気、介護、看護などで保育ができない家庭など

▷ 提出書類

①施設型給付費・地域型保育給付費等教育・保育給付認定申請書兼保育利用申込書(2・3号用)
※世帯全員のマイナンバーの記載が必要です。



※0歳児は母子健康手帳の写しが必要です。

②マイナンバー確認書類と身元確認書類(保護者1人分)

③保育を必要とする証明書類(就労証明書など)

④令和7年1月1日に芦屋町に住んでいない場合は、その時点の居住地での所得課税証明書

※提出書類の様式は健康・子ども課窓口にあります。また、町のホームページからダウンロードできます。



町ホームページ

※事前に入所を希望する施設の見学を済ませたうえで、申し込んでください。施設見学は各施設に直接申し込んでください。

※町外の保育所、認定こども園(保育利用)を希望する場合も、芦屋町役場で手続きをしてください。

▷ 申し込み・問い合わせ 子育て支援係 (☎2223・3537)

健康・子育て

みんなで元気になろうや！講座

あなたの血液はサラサラ？ドロドロ？保健師・管理栄養士による講話や、バランスの取れた食事の試食を行います。健康のことをみんな学びましょう。

▽とき 12月23日(金)・午前10時(受け付けは9時45分から)～午後0時30分

▽ところ 中央公民館4階

▽対象 町内に住んでいる人

▽定員 15人

▽参加費 無料

▽持ってくるもの 健診結果表、筆記用具

▽申し込み 12月16

日(金)までに、2次元コードから。または健康づくり係(☎223・3533)へ



申し込みフォーム

ぱくぱく料理教室に参加しませんか

大人の食事を作しながら、こどもの年齢に合わせた取り分け離乳食・幼児食作りを学び



ます。託児があるので、ママ・パパたちとゆっくり料理を楽しみましょう。調理後はこどもも一緒に楽しいランチタイムです。

※1歳6カ月未満の離乳食は保護者の試食のみです。

▽とき 12月12日(金)・午前9時15分(受け付けは9時から)～午後1時

▽ところ 中央公民館4階

▽定員 8組

▽参加費 大人400円、食事をするこども150円

▽持ってくるもの エプロン、三角巾(貸し出しあり)

▽申し込み 12月5

日(金)までに、2次元コードから。またはこども家庭センター(☎223・3577)へ



申し込みフォーム

ふれあいクッキングに参加しませんか

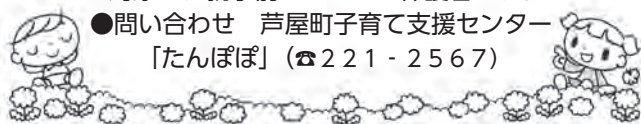
芦屋の食材を使った料理や郷土料理などを中心とした調理実習を行います。年齢、性別関係なく誰でも参加できます。栄養バランスに配慮した健康な食生活と一緒に、芦屋の食文化を学んでみませんか。

▽とき 12月19日(金)・午前9時30分(受け付けは9時15分から)～午後1時

たんぽぽコーナー

対象は、就学前のこどもと保護者です。

●問い合わせ 芦屋町子育て支援センター「たんぽぽ」(☎221・2567)



12月の日曜開館日 14日・28日

♥ぽんちゃんのにこにこ絵本

▷とき 12月1日(日)・午前11時～11時30分

♥クリスマス会(15組限定)

▷とき 12月9日(日)・午前10時～11時

※11月25日(日)から予約開始

サンタさんがたんぽぽに来てくれますように・・・



♥きりんパーク

▷とき 12月10日(日)・午前9時～正午

※センター内の奥のホールで体を動かして遊ぶことができます。

♥吉村じいちゃんと絵本ママミーの絵本タイム

▷とき 12月19日(金)・午前11時～11時30分

♥育児相談

【離乳食の日】(5組限定)

管理栄養士による食事の指導と進め方相談

▷とき 12月2日(日)・午前10時～11時

※11月18日(日)から予約開始

【たんぽぽ相談】保健師・管理栄養士による相談

12月の相談日はありませんが、気になることがあれば、気軽に電話をしてください。

※次回は、令和8年1月13日(日)です。

みんな来てね、出前たんぽぽ広場

▷とき 12月17日(日)・午前10時～正午

▷ところ 山鹿公民館和室

※絵本やおもちゃを用意して待っています。

※年末年始のお知らせ(たんぽぽのお休み)

12月29日(日)から令和8年1月4日(日)まで



- ▽ところ 中央公民館4階
- ▽対象 町内に住んでいる人
- ▽定員 12人
- ▽参加費 400円
- ▽持ってくるもの エプロン、三角巾(貸し出しあり)
- ▽申し込み 12月12日(金)までに、2次元コードから。または健康づくり係(☎2223・3533)へ
- からだ、ゲンキ！教室
〜新規参加者募集〜
- 最近健診結果やお腹まわり、気になっていませんか。週に1回でも運動にチャレンジしたい人はいませんか。一緒に楽しく運動して、健康になるための教室です。気持ちよく体を動かし、メタボを解消しましょう。
- ▽とき 毎週月曜日・午前10時〜11時30分
- ※祝日は休みです。
- ▽ところ 町民会館
- ▽内容 ストレッチ、リズム体操、筋力トレーニングなど
- ▽対象 芦屋町国民健康保険加入者で、令和7年度に若者健診または特定健診を受診する人
- ▽定員 20人程度
- ▽参加費 無料



申し込みフォーム

募集・相談

- ▽持ってくるもの 運動できる服装、室内運動シューズ、タオル、水分(お茶など)
- ▽申し込み 健康づくり係(☎223・3533)へ
- 会計年度任用職員募集
- 事務補助員(課税係)
- ▽任期 令和8年1月19日〜3月31日
- ※勤務成績が良好で、同職種がある場合に、更新されることがあります(ただし、7月14日(金)まで)。
- ▽募集人数 5人程度
- ▽業務内容 確定申告の受け付け補助、賦課資料の整理、納税通知書の封入など
- ▽勤務時間 ①午前8時30分〜午後4時30分 ②午前9時〜午後5時(どちらも休憩60分)
- ▽勤務形態 団体のうち、シフト制(5人程度による交代勤務)
- ▽報酬 日給7892円
- ▽保険 なし
- ▽採用条件 パソコン操作ができる人
- ▽試験内容 個人面接
- ※日程は担当課より連絡します。
- ▽申し込み

- 申込書に必要事項を記入のうえ、12月12日(金)午後5時15分までに人事係(☎2223・3574)へ提出(必着)
- ※申込書は、総務課窓口にあります。また、町のホームページからダウンロードできます。
- ※地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当する人は応募できません。
- ※会計年度任用職員は、一般職として地方公務員法の各規定(守秘義務、職務専念義務、懲戒処分など)が原則適用になります。
- 令和7年度第3回
県営住宅の入居者募集
- ▽募集住宅 県内に所在する県営住宅(詳細は募集案内に記載)
- ▽募集案内配布期間 11月27日(金)〜12月12日(金)
- ※募集案内は環境住宅課窓口にあります。
- ▽受付期間 12月4日(金)〜12日(金)
- ▽申し込み 福岡県住宅供給公社県営住宅管理部管理課(☎092・781・8029)へ
- 特設人権相談
- 人権や法律の問題で困っている人は気軽に相談してください。

- ▽とき 12月11日(金)午後1時30分〜3時30分
- ▽ところ 中央公民館4階
- ▽相談内容 家庭、相続、登記、戸籍、金銭、いじめ・不登校の人権問題など
- ▽相談員 人権擁護委員
- ▽相談料 無料
- ▽問い合わせ 障がい者・生活支援係(☎2223・3530)
- ※事前に相談内容を連絡してください。
- 人権生活相談
- 人権に関することや生活、就職、進学などの相談に応じています。
- 【定例相談】
- ◎12月4日(金) 橋本 求相談員
- ◎12月18日(金) 土肥孝明相談員
- ※時間は、いずれも午後2時〜4時
- ▽ところ 中央公民館
- 【定例日以外】直接、相談員に連絡してください。
- ◎橋本相談員(幸町8番18号 ☎223・3203)
- ◎土肥相談員(浜口町4番12号 ☎222・0044)



相談

ひきこもり相談会

さまざまな事

情により、ひきこもりの状況にある本人や家族の悩みを、福岡県ひきこもり地域支援センターの相談員が聞きます。



気持ち話をすることで状況が変わることがあります。ひとりで悩まず、まずは相談してください。

▽とき 12月19日金・午前10時、午後1時、3時から

▽ところ 役場4階

▽対象 芦屋町に住む人で、ひきこもり状態の人（おおむね18歳以上）、その家族、関係者

▽対象 各時間帯1人

※事前申し込み先着順

▽申し込み 障がい者・生活支援係（☎223・3530）へ

無料法律相談

▽とき 12月16日四・午後1時30分～4時30分（時間指定不可）

▽ところ 役場2階

▽定員 6人（組）（事前申し込み）

先着順）

▽相談時間 1人（組）約30分

※申し込みは、一つの相談内容につき1枠です。

※遅れるときや相談の取り消しをするときは、必ず連絡してください。

※相談の内容に応じて、契約書などの関係書類（写しでも可）を持参してください。

※係争中の案件や刑事事件に関する相談、同一・同種の案件についての反復的・継続的な相談は受け付けていません。

▽申し込み 12月1日四から庶務係（☎223・3572）へ

お知らせ

コグニサイズで脳を活発に
認知症予防教室

認知症は誰もがなり得る身近な病気、症状が出る前から予防することが大切です。

この教室では、頭と体を同時に使った運動（コグニサイズ）で脳の活動を活発にし、自宅でも継続できる方法を学びます。

▽とき 12月3日・10日・17日（全3回 全て水曜日）・午後1時30分（受け付けは午後1時から）

▽ところ 山鹿公民館

▽対象 町内に住んでいる人

▽定員 15人

▽参加費 無料

▽申し込み 11月28日金までに、高齢者支援係（☎223・3536）へ

認知症普及啓発映画上映会

日本の高齢化は進行しており、認知症は誰もがなり得る身近な病気です。認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を作っていくことが重要です。認知症に対する正しい理解を深めるため、ドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしく願います。」の無料上映会を行います。

この映画は、実際に認知症と向き合う人やその家族の声が丁寧に映像化された作品で、多くの人に認知症を考えるきっかけを提供する内容となっています。映画をとおり、認知症のことを一緒に学んでみませんか。

▽とき 12月20日土・午前10時（開場は9時から）／正午

▽ところ 町民会館大ホール

▽内容 【映画】ぼけますから、よろしく願います。

▽監督 信友直子

▽参加費 無料

※申し込み不要

年末の交通安全県民運動 12月11日（木）～31日（水）

▶問い合わせ 地域振興・交通係（☎223-3539）

交通ルールの遵守と正しいマナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を目的に、県下一斉に交通安全運動が行われます。

一人一人が交通ルールや交通マナーを守ることの大切さを理解し、自分の命は自分で守る意識を身につけましょう。

▶重点項目 夕暮れ時以降の交通事故防止～横断歩道マナーアップ運動の推進～、飲酒運転の撲滅、自転車・特定小型原動機付き自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

【飲酒運転ダメ！絶対！】飲酒運転は犯罪です。

「飲酒運転は、絶対しない、させない、許さない。そして、見逃さない」ことを徹底しましょう。

飲酒運転を見かけたら、迷わず110番通報しましょう。



▽問い合わせ 高齢者支援係（☎223・3536）

選挙管理委員会からのお知らせ

1 明るい選挙啓発ポスター・標語作品展示

明るい選挙を呼びかけるためのポスターと標語作品を展示します。

▽とき 12月12日（金）～23日（火）まで（平日のみ）

▽ところ 役場1階ロビー

2 寄付禁止のルールを守りましょう

公職選挙法に基づく禁止行為と

いうものがいくつかあります。

有権者と政治家の両方に関わる

ので、知らず知らずのうちにそのような行為をしないように気を付けましょう。



■政治家からの寄付禁止と有権者の寄付勧誘や要求の禁止

政治家（候補者、立候補しようとする人、現に公職にある人）が選挙区内の人や団体などに金銭や物を贈ることは禁止されています。また、有権者が政治家に対して寄付

を求めることも禁止されています。

■年賀状などのあいさつ状の禁止

政治家が選挙区内の人に対して、年賀状などのあいさつ状を出すことは禁止されています（自筆の答礼を除く）。

▽問い合わせ 芦屋町選挙管理委員会（住民課内 ☎223・3531）

高齢者のためのスマートフォン教室

スマートフォンの使い方やアプリのインストール方法などの基本的なことや、地図アプリの使い方

などを学ぶ2回

連続の教室で

す。スマートフォンを持っていない人や現在使っているキャリア

アに関わらず参加できます。



夜間飛行訓練を行います

平日昼間の訓練に加えて、次の日程で夜間飛行訓練を行います。

【ジェット機】

▷とき 12月16日（火）・17日（水）の日没～午後9時ごろ（予備日＝18日（木））

【救難ヘリコプター・救難捜索機】

▷とき 毎週（木）・（火）の日没～午後9時ごろ
※天候不良の場合、翌日以降を予備日として実施します。
▷問い合わせ 航空自衛隊芦屋基地渉外室（☎223・0981内線254）

マイナンバーカードの休日窓口を開設します

平日役場開庁時に、マイナンバーカードの申請や受け取りができない人のために、次の日程で休日窓口を開設します。

※急きょ中止になる場合は、ホームページに掲載します。

▷とき 12月20日（土）・午前8時30分～正午

▷ところ 住民課窓口

▷持ってくるもの



マイナンバー 休日
窓口ホームページ

【申請】 申請書（ない場合は役場で交付）、申請書貼付写真（ない場合は申請時に無料で撮影）、通知カード、本人確認書類、住民基本台帳カード（持っている人のみ）

【受け取り】 交付通知書、通知カード、本人確認書類、住民基本台帳カード（持っている人のみ）
※本人確認書類は、公的機関が発行した免許証などの顔写真付きは1点、健康保険証などの顔写真がないものは2点必要です。

※手続きは本人のみできます。

※証明書の発行や転入・転出の異動の受け付けなどは行いません。

▷問い合わせ 住民係（☎223・3531）

- ▽とき
- ①【1回目】 令和8年1月8日（火）
午前10時～午後0時15分
【2回目】 1月15日（火）～午後1時
～4時30分
- ②【1回目】 1月22日（火）～午前10時
～午後0時15分
【2回目】 1月29日（火）～午後1時
～4時30分
- ③【1回目】 2月5日（火）～午前10時
～午後0時15分
【2回目】 2月12日（火）～午後1時
～4時30分
- ▽ところ ①中央公民館4階
②山鹿公民館学習室
③芦屋東公民館学習室
- ▽講師 株式会社NTTドコモ
- ▽対象 町内に住んでいる高齢者
の人でスマートフォンの活用方
法を学びたい人
- ▽定員 15人（事前申し込み先着順）
- ▽参加費 無料
- ▽申し込み 12月1日（火）から各開
催日の1週間前までに高齢者支
援係（☎223・3536）へ

お知らせ

正しく捨てよう
リチウムイオン電池



リチウムイオン電池がごみとして捨てられ、収集運搬時や処分時にごみ収集車・処理施設で衝撃が加わり発火する事故が発生しています。安全にごみ収集を行うため、正しく処分しましょう。

▽処理方法 製品から電池を外せる場合は外してください。端子をビニールテープで覆い、役場（郵便局入口）と山鹿公民館に設置された小型家電回収ボックスや、家電量販店にある回収ボックスへ出してください。

※膨張しているものは、店舗や製造メーカーが受け取らない場合、環境住宅課窓口（役場1階）で回収します。

▽使用されている製品 コードレス家電・デジタルカメラ・携帯電話・タブレット・携帯ゲーム機・モバイルバッテリー・電動シェーバー・電動歯ブラシ・加熱式たばこなどです。

※電池本体にはリサイクルマークがついています。

▽問い合わせ 環境・公園係（☎223・3538）

障がい者等自発的活動支援事業補助金

共生社会の実現のため、障がい者やその家族、地域住民などによる、障がい者の権利や自立のための働きかけを目的とした、自発的な活動を行う団体に対し、障がい者等自発的活動支援事業補助金を交付しています。



町ホームページ

▽対象団体 障がい者やその家族、地域住民などによって構成され、主に芦屋町において自発的活動を行う5人以上の団体

▽対象事業

・障がい者やその家族がお互いの悩みを共有することや情報交換できる交流事業

・障がい者の権利や自立のため社会に働きかける事業など

※単年度に完了する事業に限ります。

講師の謝礼や旅費、事務用消耗品費、会場や機材の借上料などを対象に交付します。

▽補助額 1団体につき5万円を上限として交付します。

▽申し込み 障がい者・生活支援係（☎223・3530）へ

2026年版福岡県民手帳が販売中です

福岡県民手帳は、県内の市町村の概要や、県内にあるさまざまな相談窓口、主な施設の情報、統計データなど、情報満載の手帳です。



福岡県民手帳
県ホームページ

詳しくは福岡県のホームページを

※芦屋町役場での販売は行いません。

▽価格 1100円（税込み）

▽問い合わせ ダイゴウ株式会社（☎06）6581・1235

プロバスケットボール試合
観覧チケットプレゼント

プロバスケット

トボールチーム「ライジングゼファーフクオカ」のリーグ戦



無料観覧チケットをプレゼントします。家族や友人と一緒に、迫力のある熱い試合を現地で体感してみませんか。

▽とき 令和8年1月3日（土）、4日（日）

※両日ともに午後2時5分開場

▽ところ 北九州メッセ（旧・西

広告

芦屋町の住宅・不動産のことは

山元建設へ

注文住宅

リフォーム
リノベーション

不動産売買

生前整理
遺品整理

解体工事
（補助金あり）



空地・空き家・相続不動産のお困りごとはありませんか？

不用品のお片付けから
売却まで丸ごと
サポートします。

常設モデルハウス
見学会実施中

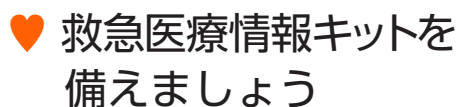
～芦屋町で1964年創業 四世代で地域の家を守る～
一級建築士事務所

山元建設株式会社

☎093-223-1006

本社：芦屋町白浜町1番4号
事務所：岡垣町糠塚1325番12
ネットからのお問合せはこちら





▷対象 65歳以上の一人暮らしの人、65歳以上の高齢者夫婦世帯、障がい者で一人暮らしの人

▷救急キットの内容

申込書（用）		救急連絡カード		記入日		年		月		日	
私は前記の住所に居住し、前記の住所に於て、本人または家族の急病や怪我等が発生することになった場合、 下記に記述の如く連絡し、救急車に受け付けられ、人と緊急連絡の必要連絡が出来ることに同意します。											
住所		〒 - 戸隠町									
フリガナ		電話番号		自宅		携帯					
氏名		(男・女)		生年月日		年		月		日	
緊急連絡先											
氏 名		姓		電 話		住 所					
住 所											
住 所											



救急連絡カードの記載内容に変更があった場合、かけつけた人に正しく情報が伝わるように、必ず書きかえて保管してください。

高齢者支援係 (☎223-3536)へ

日本総合展示場・小倉北区浅野）

▽対象 町内に住んでいる人

▽定員 両日先着100人


※応募多数の場合は抽選

▽申し込み 11月25日(火)から12月12日(金)までに、申し込みフォームから申し込みを行ってください。

後日、メールにて当選結果に関する連絡を送ります。

※1人4枚まで申し込みできます。

※対象座席は、2階自由席です。



申し込みフォーム

※チケットの取得には、Bリーグへの会員登録（無料）が必要です。

▽問い合わせ 社会教育係 ☎223・3546

**世界エイズデー
特定感染症検査の実施**

12月1日は世界エイズデーです。宗像・遠賀保健福祉環境事務所では、以下の日程でHIVと梅毒・性器クラミジア・淋菌の検査を行います。気になる人は、一度検査を受けてみませんか。

▽とき 12月3日（困）・午後5時～

6時30分

▽ところ 宗像・遠賀保健福祉環
境事務所（宗像市東郷）

▽費用 無料

▽申し込み 宗像・遠賀保健福祉環
境事務所保健衛生課感染症係（☎
（0946）36・6098）へ

※予約制です。

※HIV・梅毒は検査の1時間後
に検査結果が判明します。性器
クラミジア・淋菌の検査結果は
1週間程度経過してから再度来
所して確認してください。

廣告

みんなの ねんきん

社会保険料控除証明書が 届きます

日本年金機構から、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が対象者宛てに送られます。手元に届いたら大事に保管し、年末調整や確定申告に使用してください。令和7年中に納付したものであれば、過去の年度分や追納した保険料もすべて社会保険料控除の対象になります。

① 10月中旬～下旬に送られてきた人

令和7年1月1日～9月30日の間に保険料を納付した人

② 令和8年1月下旬に送られてくる人

令和7年10月1日～12月31日の間に保険料を納付した人

マイナポータルとねんきんネットの認証連携手続きが済んでいる人のうち、ねんきんネット内で「電子送付を希望する」と登録している人に対しては、マイナポータルの「お知らせ」にのみデータを送信します。※なお、自分の保険料だけでなく、配偶者や子どもなどが負担すべき保険料も支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に関する相談は、「ねんきん加入者ダイヤル」に問い合わせてください。

▷問い合わせ ねんきん加入者ダイヤル
(☎0570-003-004)

お知らせ

第74回

遠賀郡駅伝競走大会

▽とき 令和8年2月1日(日)・午前9時から(受け付けは8時10分～30分)
※荒天の場合は、2月11日(日)に延期します。



▽ところ 遠賀総合運動公園内周回コース
▽対象 小中学生(小学3年生以

上)Ⅱ郡内の学校に在籍、または郡内のスポーツクラブに所属している人、一般の部(高校生以上)Ⅱ郡内に住んでいるか勤務している人、または郡内のスポーツクラブに所属している人
▽チーム編成 小学生Ⅱ学校またはクラブ単位、中学生Ⅱ学校またはクラブ単位、一般Ⅱ各町単位
※必ず1チーム5人で編成すること
※小学生、中学生女子は1人1・5km、中学生男子・一般は1人3km
▽申し込み 1月9日(金)までに、芦屋町体育協会(☎2222・0

水道管の凍結に注意

寒さが厳しくなると、水道管や水道メーターが凍結したり破裂したりします。露出した水道管に保温チューブを巻いたり、メーターの周りに布を入れたビニール袋を詰めたりして保護しましょう。



労働力調査にご協力を

総務省と福岡県が行う労働力調査は、国の雇用や失業の実態を明らかにする重要な統計調査です。調査員が皆さんの自宅を訪問したときは、調査への回答をお願いします。調査員は必ず福岡県の調査員証を携帯しています。かたり調査に注意してください。

▽調査期間 12月～令和8年4月
▽調査地区 大字山鹿の一部(山鹿小学校周辺)

▽問い合わせ 福岡県調査統計課
調査第一班(☎(092)651・1111)

国民健康保険健康優良家庭を表彰します

芦屋町国民健康保険では、国民健康保険に加入している世帯の被保険者全員が1年間医療機関などを受診しておらず、国民健康保険税に滞納がないなど、一定の条件に該当した世帯を健康優良家庭と

水道管の修理など(有料)は、北九州市上下水道局指定の給水装置工事業者へ依頼しましょう。
▽問い合わせ 北九州市上下水道局西部工事事務所(☎644・7820)



して表彰しています。

このたび、令和6年度の健康優良家庭に該当する世帯主に対して、12月に記念品を贈ります。

町の健康診査を大いに活用し、今後も健康を保持してください。

▽問い合わせ 保険年金係(223・3532)

芦屋東公民館講座 フラワーアレンジメント

正月に向けた、花のアレンジを学びます。

▽とき 12月27日(土)・午後1時～3時



▽ところ 芦屋東公民館

▽対象 町内に住んでいるか、勤務している人

▽定員 20人(事前申し込み先着順)

▽参加費 2200円(材料代)

※参加費は12月19日(金)までに芦屋東公民館へ持ってきてください。

※12月20日(土)以降のキャンセルは返金できないので、材料または完成品を渡します。

▽持ってくるもの 花ばさみ、タオル、作品持ち帰り用の袋

▽申し込み 12月2日(火)～12月19日(金)・午前9時～午後5時に電話(☎222・1981) または芦屋東公民館窓口へ

※月曜日は休館です。

ギャラリーあしや ワークショップ

●水引アクセサリー講座

初心者でも簡単にできる、水引でアクセサリー



ーチャームを作る講座です。カラフルなひもを結んで、自分だけの作品を作ってみませんか。

▽とき 12月21日(日)・午後1時～3時

▽ところ 中央公民館3階

▽対象 小学5年生以上

▽定員 10人(事前申し込み先着順)

▽参加費 300円(材料代)

▽申し込み 11月30日(日)～12月12日(金)・午前9時～午後5時に電話(☎222・1681) または中央公民館窓口へ

※月曜日は休館です。

※一度の申し込みで、最大参加者2人まで受け付けできます。

ギャラリーあしや特別展

●末松コレクション展「南画の世界」

芦屋町在住のコレクター・末松寿博さんより寄贈された南画コレクションを一挙に公開します。芦屋町にまつわる画工を中心に、自

然や動物、俗世などが描かれた南画を約60点展示します。

▽とき 11月22日(土)～12月21日(日)・午前9時～午後5時

▽ところ 中央公民館3階

▽問い合わせ 中央公民館(☎222・1681)

※月曜日は休館です。ただし、11月24日(日)は開館します。

クリスマス特別呈茶

こどもたちも楽しめるクリスマス特別呈茶を行います。気軽に参加してください。

▽とき 12月6日(土)、7日(日)・午前10時～午後4時30分受け付け

▽ところ 芦屋釜の里大茶室

▽内容 抹茶とクリスマスの和菓子による呈茶

※お点前はありません。

▽料金 18歳以上700円、小中学生・高校生400円、(入館料とお茶代)、未就学児300円(お茶代)

▽問い合わせ 芦屋釜の里(☎223・5881)

芦屋釜の里鋳物講座 錫の古印作り

オリジナルの鋳製の古印を作ります。(桐箱付き)

▽とき 12月14日(日)午前10時～11時30分

▽ところ 芦屋釜の里

▽対象 小学3年生以上(小学4年生まで保護者同伴)

▽定員 15人(事前申し込み先着順)

▽料金 大人1500円、高校生以下1300円(入館料含む)

▽申し込み 11月29日(土)～12月6日(日)の午前9時30分～午後5時まで

※月曜日は休館です。

訂正とお詫び

広報あしや11月号に掲載した内容に一部誤りがありましたので訂正しておわびします。正しくは次のとおりです。

●裏表紙・芦屋町内周遊企画を開催します! 「芦屋発掘スタンプラリー」

【誤】10月24日(金)～11月9日(日)

【正】10月24日(金)～11月30日(日)

▽問い合わせ 芦屋町商工会(☎222・2111)

●17ページ・俳句・短歌 浜木綿俳句会(池田幸利さんの俳句)

【誤】つくばのひ水の一円天の秋

【正】つくばのひ水の一円天の秋
▽問い合わせ シティプロモーション係(☎223・3571)

町長への手紙・ご意見箱

芦屋町では、「まちづくりは町民全員が協働してつくるもの」と考え、町政への提案や意見などをいただく「町長への手紙」と「ご意見箱」があります。

今回は、いただいた町長への手紙・ご意見箱の中から抜粋して紹介します。

▷問い合わせ シティプロモーション係 (☎223・3571)



手紙

野焼きをしないように注意してほしい

畑で野焼きをしている人がいて、近隣に煙や灰、火の粉が飛んできていて困っています。
(匿名)

回答

現地確認を行うとともに直接指導も行いますので、役場に連絡してください

野外焼却は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で原則禁止されています。ただし、農業、林業または漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却は例外となっています。例外に該当してもむやみに焼却してはいけません。空気が乾燥し、風が強い日には行わないなどルールを守り、事前に消防署へ連絡してください。

手紙

ごみ集積所に金属のゴミステーションを設置してほしい

ごみ集積所で動物がごみを荒らして困っています。町の衛生上、美観の為にも金属のゴミステーションを設置してほしい。

(80歳代 女性)

回答

ごみネットや金網ボックスなどは、町ではなく、自治区が設置しています

ごみ集積所の管理は地域（自治区）の皆さんにお願いしていて、ごみネットや金網ボックスなどは、自治区が設置しています。町は区長会に、ごみネットや金網ボックスなどの購入支援を行っていますので、お住いの地域の区長さんにご相談ください。なお、道路幅などの関係で金網ボックスが設置できない箇所もあります。

- 町長への手紙やご意見箱は、町民の皆さんの声を町政に反映させるためのものです。まちづくりの提案や意見、日常生活の中で感じていることをお寄せください。
- 町長への手紙やご意見箱は、必ず町長が目とおし、個人のプライバシーや利害にかかわるものの以外は、差出人へ返事を送ります。できるだけ、名前と住所などを記入してください。なお、ひぼうちゅうしょうたぐい誹謗中傷の類は受け付けません。

▷町長への手紙（用紙）の設置場所

役場 2 階企画政策課、町民会館、中央公民館、山鹿公民館、芦屋東公民館

▷ご意見箱

芦屋町のホームページにある「ご意見・ご提案」から送ることができます。

今号に折り込んでいます
町長への手紙（水色）



ホームページの
「ご意見・ご提案」
も活用してっちゃ！



ホームページ
ご意見・ご提案

芦屋歴史紀行

その三百五十五

金屋遺跡と芦屋釜③

12月7日まで、芦屋歴史の里では特別展「金屋遺跡展」を、芦屋釜の里では開館30周年記念特別展「芦屋釜の美と鋳物師の技」を開催しています。今回で金屋遺跡と芦屋釜は最終回です。最終回は、特別展で展示中の芦屋鋳物師の作品を紹介します。

合戦ヶ原出土素文平釜

素文平釜は、芦



△合戦ヶ原出土素文平釜

屋町の合戦ヶ原（現在の芦屋中央公園のあたり）から発見されました。全体が錆びに覆われていますが、その造りは精巧です。形は平釜で、口部には低い縁を施し、胴部の直羽には鋳をつけています。口作りは、角がきつちりと立ち、手抜きが無い仕事ぶりがうかがえます。鋳を取り付ける金具は釜とは別製で、金具の下に花形の座金が置かれるなど、製作者の細かい配慮がなされています。この釜は、芦屋釜と同じ挽き中子法という技法によるものと考えられ、芦屋鋳

物師に関連する作品とみられます。この釜は茶の湯用か煮炊き用かは不明ですが、おそらく後者であったと考えられます。合戦ヶ原出土素文平釜は芦屋鋳物師に関連する貴重な資料として、芦屋町有形文化財に指定されました。

芦屋楓流水鶏図真形釜

九州国立博



△芦屋楓流水鶏図真形釜 九州国立博物館蔵
撮影：落合晴彦 提供：九州国立博物館

物館が所蔵する重要文化財の芦屋釜です。鋳付は柔らかな表情の獅子面です。底は打ち欠かれ、別に造った一回り小さい底を釜の内側から接着する方法で補修が行われ、「尾垂釜」と呼ばれる形になっています。胴部表面には鶏合せ（闘鶏）の様子が表されています。鶏合せは宮中で3月3日に行われる春の年中行事の一つとして、大和絵などに描かれます。また、胴部裏面は流水に浮かぶ楓を表し、秋の風景を描いています。これらの文様からこの釜には、「立田川」の銘

がついています。一つの釜に、春と秋二つの風景を表した珍しい釜です。

鰐口

山口県



△鰐口 今八幡宮蔵
(山口市歴史民俗資料館寄託)

今八幡宮が所蔵する重要な文化財の鰐口です。鰐口とは、お寺の軒先に吊るされる仏具のことです。この鰐口は、大内義隆が、天文3（1534）年に芦屋鋳物師のおおえのぶひで大江宣秀に製作を依頼し、今八幡宮へ寄進したものです。通常の鰐口の大さは、面径20cm、30cmのものが普通ですが、この鰐口は、面径が85・8cmもあり、非常に珍しいものです。鼓面には、雲龍や宝珠が見事に表現されています。また、鰐口では珍しく、吊り手が龍頭となっています。いずれも、芦屋鋳物師の技術力の高さを知ることができます。

合戦ヶ原出土素文平釜は芦屋歴史の里で、芦屋楓流水鶏図真形釜と今八幡宮鰐口は芦屋釜の里で展示していますので、見に来てください。

（芦屋歴史の里）

編集後記

▼今号の表紙は町内の保育園・幼稚園児たちの芋ほりの写真です。芋ほりの最中に園児たちから「見て！大きいよ！」との声が。慌ててカメラを構えるところには大きな幼虫。虫を見て喜ぶ姿から、何事も純粋な目と感性で楽しむことの大切さを改めて感じました。（伊藤）

▼芦屋町には2人のふるさと観光大使がいます。今号の裏表紙に掲載していますが、コンバット満さんは、定期的に芦屋町に訪問し、PR活動をしてってくれています。見かけたらどんだん声をかけてください。露の五郎さんは、関西で活躍している落語家です。12月14日（日）にあしや夢リアホールで襲名披露公演があります。普段、落語に触れる機会がない人も参加してみてもどうでしょうか。（篠塚）

▼今号が発行されるころには、あしや砂像展は終了していますが、皆さんは見に行きましたか？私は取材やプライベートも含めて10回は訪れましたが何度見ても恐竜の皮膚の質感や今にも飛び出しそうな迫力に圧倒されていました。訪れた人に話を聞くと「これが砂と水だけでできているなんてすごい」「皮膚や歯の細かいところまで表現されていてリアルです！」など満足そうに話していました。開催中の様子は次号に掲載予定です。（手塚）



芦屋町ふるさと観光大使

芦屋町を応援してくれるふるさと観光大使を、みんなも応援しよう!!

コンバット満さん（お笑いタレント） ■令和4年4月就任



定期的に芦屋町を訪問し、芦屋町の観光スポットや特産品などを自身のInstagramでPRしてくれています。フォロワー数も1.4万人!! 多くの人に芦屋町の情報を届けてくれています。



△あしや砂像展、ご当地マンホールのPRを行う様子

コンバット満さんの
Instagramはこちら



Instagram
コンバット満
(konbatsu94)



いいね♡、再投稿🔄を
よろしくっちゃん!!



露の団四郎改め 露の五郎さん（落語家） ■令和7年8月就任



各地のイベントに参加して芦屋町のジャケット・ポロシャツを着てPRしてくれています。12月14日日には「三代目露の五郎」襲名披露公演をあしや夢リアホールで行います。



△祭などでジャケットやポロシャツを着てPRを行う様子

【三代目露の五郎襲名披露公演 in 芦屋町】

▽とき 令和7年12月14日

午後1時30分開演（午後1時開場）

▽ところ あしや夢リアホール

▽料金（全席自由席）

前売3,000円・当日3,500円（税込）

◎チケットぴあPコード535-857

セブンイレブン店頭、芦屋町観光協会、
岡垣サンリーアイで販売

▽問い合わせ 三代目露の五郎襲名事務局
☎070-8514-4069

（平日午前10時～午後6時）

12月

Happy Birthday



もうり たいよう
毛利 太陽ちゃん

（緑ヶ丘）

令和6年12月15日生まれ

かわいいかわいい太陽くん、
1歳のお誕生日おめでとう。
元気に生まれてきてくれてあ
りがとう! いっぱい食べてい
っぱい遊んで大きくなってね。